

各位

会社名 株式会社 き も と
 (略称 K I M O T O)
 (URL <https://www.kimoto.co.jp/>)
 代表者名 代表取締役社長 小林 正一
 (コード番号 7908 東証スタンダード)
 問合せ先 管理本部長 新上 奈美江
 (TEL 050-3154-9000)

2026 年 3 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2025 年 4 月 28 日に公表した 2026 年 3 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想と実績値に差異が発生しましたのでお知らせします。

記

1. 業績予想との差異について

2026 年 3 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想との差異（2025 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日）

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1 株当たり 中間純利益
前回発表予想（A）	百万円 5,080	百万円 420	百万円 440	百万円 300	円 銭 6.53
実 績（B）	5,583	820	872	633	14.05
増減額（B－A）	503	400	432	333	
増 減 率（％）	9.9	95.5	98.4	111.3	
（ご参考）前期中間期実績 （2025 年 3 月期中間期）	5,776	814	768	627	13.60

2. 差異の理由

当中間期業績は、第 1 四半期に引き続き通信機器向け部材および工程材料に使用される製品が堅調に推移しました。米国による関税措置の影響がほとんどなかったことに加え、産業機器向けの一部製品において価格改定を前にした前倒し受注が発生したこともあり、高付加価値製品の売上が増加しました。その結果、利益は前回予想を上回る結果となりました。

なお、2026 年 3 月期の連結業績予想、年間配当予想につきましては、上期には影響が見られなかった米国の関税措置の影響が下期以降に表面化することが予想されるほか、自動車産業全体の低迷からの回復見通しも依然として不透明であります。これらの状況を踏まえ、下期の事業環境や需要動向を慎重に見極める必要があると判断し、2025 年 4 月 28 日に公表した業績予想、配当予想は据え置いております。今後の業績推移等を慎重に検討したうえで、修正が必要な場合には速やかに公表いたします。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものです。実際の業績は、様々な要因により記載の予想値とは異なる結果となる可能性があります。

（ご参考）2026 年 3 月期第 2 四半期（中間期）の業績について

https://www.kimoto.co.jp/company/message_list/message

以上